

長大の4年前と今!

2015→2018

4年間の変化 大学あれこれ!

→2017年 ゲストハウス建設



2017年の医学部創立160周年を記念し、長崎医学同窓会様から、新ゲストハウス「レジデンシー精得館」が、坂本キャンパスに寄附されました。このゲストハウスには、外国人留学生・研究者が滞在するほか、学生・教職員の学術交流・友好の場としても活用されています。「精得館」という名称の由来は、長崎海軍伝習所教官であったオランダ海軍軍医ボンベが設立した養生所と医学所が、精得館と呼ばれていたことによります。

留学生数 427人→576人

留学生数の増加は、増加率にしてなんと約35%増!2015年には、多文化社会学部1年生と留学生が共同生活を行う国際学寮ホルテンシアが誕生しており、留学生の受け入れ体制や日本人学生との交流環境が充実しています。

※いずれの年も5月1日現在の数字。



附属図書館の 蔵書数 103万→104万

4年間でなんと約1万2000冊も増加しています。特に、和漢書の増加が約1万冊と、大きな割合を占めています。貸出冊数も約7万3000冊にのぼります。皆さんの思い出の一冊は何でしょうか?

※いずれの年も4月1日現在の数字。



サークル数 230団体

220団体

サークル数も、変化をみせています。2018年6月時点で、全学サークルは約120団体(体育系約70、文化系約50)、学部毎では約100団体(体育系約65、文化系約35)、その他の団体として、全学サークル連合と学園祭運営委員会が含まれます。サークル数は、その時々々の流行りを表しているのかもしれませんが、学生生活をより充実させてくれるサークル活動。後輩たちの活躍にも注目です!

食堂 メニュー数

→306品



3キャンパスを合計し、約300種ものメニュー数を誇ります。この数は九州内でも特に多く、独自のメニューが盛りだくさん。長い間、バランスのとれた種類の豊富さを誇っています。中でも人気No.1メニューは、ちゃんぽんなのだそうです。月ごとのおすすめメニューや行事に合わせたメニューなど、毎日通っても大満足です。皆さんは、何種類制覇しましたか?

→2016年 地域科学科目 長崎地域学

地方創生人材の育成のための新しい学士プログラムが構築されました。プログラムのうち、地域科学科目(長崎地域学)は1年次の必修科目で、学内外から講師を招聘し、長崎の地勢、歴史、文化、産業などの基礎知識を学び、地域の特色や優位性についての認識を深めます。長崎を語り、長崎の未来を考える「長崎スペシャリスト」になれるはず!

女子入学生の数 2907人→2997人

一見少なく見えるこの数値ですが、2011年と2014年を比べると、37人増になるため、実は増加数としては、多い数値です。2014年に多文化社会学部が設置され、約7割が女性である同学部ができたことが要因と考えられます。4年間でそのような変化は感じられましたか?

